

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	栄養ケア活動支援整備事業			担当部局	健康局		作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	がん対策・健康増進課栄養指導室		栄養指導室長 河野 美穂		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-10-2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るとともに、がんによる死亡者の減少を図ること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成26年度栄養ケア活動支援整備事業の実施について(平成26年6月10日付け健発0610第12号厚生労働省健康局長通知)				
主要政策・施策	高齢社会対策、食育推進			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	現在、平成23年から平成37年在宅療養者が17万人から29万人、居宅要介護者が335万人から510万人に増加すると推計されており、現状の医療施設等に勤務する管理栄養士等では対応することが困難なため、栄養ケアを担う人材の確保が急務である。このため、潜在管理栄養士等を発掘し、その人材を医療施設等において効率的に活用する必要がある。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	増大する在宅療養者に対する食事・栄養支援を行う人材が圧倒的に不足していることから、潜在管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケアの先駆的活動を行う公益法人等の取組の促進・整備を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	52	40	40	40	40		
	執行額	52	40	40					
	執行率(%)		100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	27年度
	例年規模(成果実績:200人)の在宅療養者の栄養ケアを担う人材を確保する	栄養ケアの担い手として登録した潜在管理栄養士数	成果実績	人	274	256	188		
			目標値	人	-	300	300	200	
			達成度	%	-	85.3%	62.7%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	採択団体数	活動実績	団体	6	6	9			
		当初見込み	団体	5	5	5	5		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	X:当該年度執行額/Y:栄養ケアの担い手として登録した潜在管理栄養士数	単位当たりコスト	千円	190	156	212	142		
		計算式	X/Y		52百万/274	40百万/256	40百万/188	40百万/280	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	栄養ケア活動支援整備事業	40	40						
	計	40	40						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	今後在宅療養者が増大することが推計されており、栄養ケアを担う人材の確保は急務で、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	民間団体等による取組をモデル的に実施することで、地域における医療施設等の管理栄養士の活用状況を把握し、好事例を全国的に広めていく必要があることから、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	今後在宅療養者が増大することが推計されており、栄養ケアを担う人材の確保は急務であり、当該事業は、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	実施団体を公募し、審査を行った上で補助先を決定しており、支出先の選定は妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	民間団体等による先駆的な取組を支援することで、好事例を全国的に広められることから、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	補助金交付に当たり、事業に関する経費について外部有識者を交えて精査を行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	実施団体を公募し、審査を行った上で補助先を決定しており、資金の流れの中間段階での支出は合理的なものである。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケアの先駆的活動を行うための事業の目的に必要な費目・使途となっている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	実施団体を公募し審査の上、先駆的な栄養ケア活動を実施している団体を選定しており、活動実績は見込みに見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	実施団体を公募し審査の上、先駆的な栄養ケア活動を実施している団体を選定しており、活動実績は見込みに見合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	民間団体等による先駆的な取組みによる事例は、今後、在宅療養者に対するきめ細やかな栄養ケアサービスの提供が可能となることが期待される。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	26年度は、実施団体を公募し審査のうえ9団体を選定し、栄養ケア活動の担い手となる潜在管理栄養士を発掘・登録するための活動が適切に実施された。昨年度よりも、単位当たりコストは増加したが、各種研修を行い登録管理栄養士の資質向上を目的とした事業が実施された。目的・予算の状況、資金の流れ、費目・使途、活動実績等についても適切であった。			
	改善の方向性	当事業は、外部有識者も含めた事業評価委員会を設置し、事業による効果や執行実態について評価を行っている。今後も適切な評価を行い、引き続き適正執行に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果は妥当であるが、成果目標を達成していないことから、成果目標を達成するための取組を行い、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行うこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き適正な執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新24-0012
平成25年度	292	平成26年度	304		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
40百万円

〔 事業計画の審査、指導等 〕



【補助：公募】

A. 公益法人等(9)
40百万円

〔 潜在管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケア活動事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公社)埼玉県栄養士会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
報償費	有識者会議、研修講師謝金等	2.4			
需用費	報告書等印刷費、消耗品費	2.1			
委託料	地域栄養ケアユニット連携拠点	0.5			
旅費	会議出席者交通費等	0.3			
使用量及び賃借料	研修会場借用費	0.3			
役務費	配送料等	0.3			
賃金	事務職員賃金	0.2			
保険料	栄養ケア係員傷害保険	0			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公社)埼玉県栄養士会	地域包括ケアと連動する栄養ケア	6.1	-	-
2	(公社)茨城県栄養士会	医療機関や地域包括ケアセンターと連携した栄養ケア	6.1	-	-
3	(公社)新潟県栄養士会	医療・福祉の垣根を越えた在宅訪問栄養ケア	6	-	-
4	(公社)京都府栄養士会	地域の医療関係者と連携した栄養ケア	4	-	-
5	(公社)佐賀県栄養士会	サテライトケアステーションを活用した栄養ケア	4	-	-
6	(公社)大分県栄養士会	調剤薬局を活用した栄養ケア	4	-	-
7	(公社)沖縄県栄養士会	離島・過疎地域に対する栄養ケア	4	-	-
8	(公社)福岡県栄養士会	地域における訪問歯科診療と連携した栄養ケア	3.5	-	-
9	(学)駒澤学園	地域と大学の連携による栄養ケア	2.5	-	-